

所在地： 兵庫県姫路市飾磨区妻鹿日田町1番6



設立： 2010年10月

ISO14001取得： 2011年8月 ISO14001最新更新：

主要製品：

環境コミュニケーション：10年度

情報開示： 1件 工場見学： 0名 地域貢献活動： 0件

問合せ： 環境チーム TEL: 050-3783-2733

ごあいさつ

当社は、パナソニック株式会社の液晶パネル製造会社として、2010年10月1日に発足いたしました。私どもの提供する液晶パネルは、IPS(In-Plane-Switching)液晶技術を駆使した、高透過率・広視野角・高画質が特徴の「斜めから見ても美しい」液晶パネルです。パナソニックグループの一員として、このIPS技術をたゆまなく進化させ、お客様へ感動を与える画質、世界トップの生産性・コストを限りなく追及し、グローバルで競争力のある液晶パネルを市場に提供して参ります。美しい瀬戸内海国立公園とユネスコの世界文化遺産で国宝もある姫路城に隣接した地域でこれら事業活動を展開していきますが、貴重な自然と文化遺産を守るため全従業員が環境保全に努めてまいります。



環境責任者

坪香 智昭

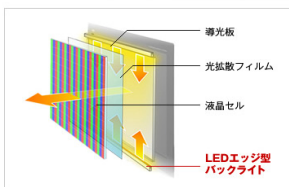
2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
〈CO2排出量の削減(省エネ)〉 従来比30%省エネ工場	従来比33%削減
〈ゼロエミッションの推進〉 リサイクル率99.9%以上	2010年度リサイクル率99.98%
〈リスクマネジメントの推進〉 該当法令の順守の推進	紙マニフェストを当初より使わず、ETマニフェストシステムを導入し、許可証の期限切れ、GPSによる車両の軌跡確認等を実施しています。

製品・環境配慮ポイントの紹介



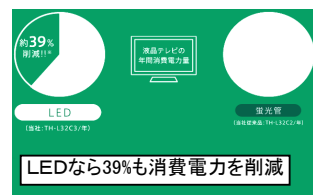
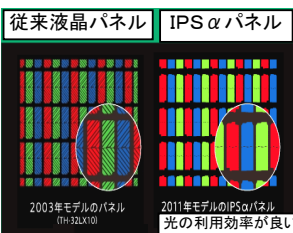
省電力*1を実現
3D対応「LEDブラックパネル」*2 & LEDバックライト



LED IPSパネルにより、光の利用効率を向上、消費電力を抑えながら、鮮やかな発色を実現しています。

省エネ性能を追求するために、高い開口率で光透過性のいいIPS方式の3D対応「LEDブラックパネル」*2を搭載。さらに、LEDエッジ型バックライトを採用するとともに、映像信号回路の集積化を図りました。環境にも家計にも配慮した省電力*1設計です。

	37v型	32v型
年間消費電力量*3 (kWh/年)	101	86
定格消費電力 (W)	117	97
待機時消費電力*4 (W)	約0.1	約0.1



環境に配慮した製品づくり

「RoHS指令」対応&J-Moss準拠

■ 環境負荷物質*の不使用

RoHS指令で指定されている特定有害物質を使用していません。(EUIに適用除外項目として認可されている物を除く)。また、日本国の資源有効利用促進法に規定されているJ-Mossにも準拠しており、製品廃棄後の環境負荷物質による汚染の可能性を抑え、よりリサイクルしやすい製品づくりを進めています。

*鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリブロモフェニール(PBE)、ポリブロモフェニールエーテル(PBDE)。

■ 無鉛はんだの採用

本体プリント基板の実装に、無鉛はんだを採用しました。

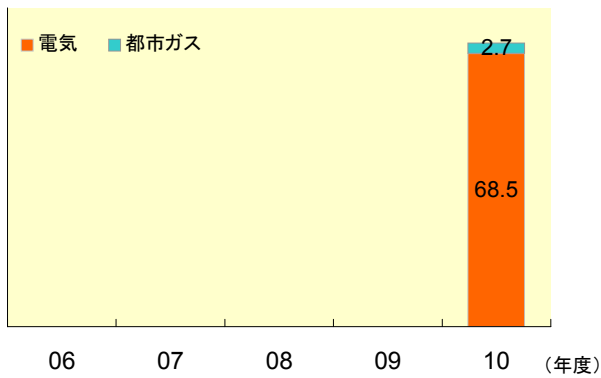
●鉛は、人体や環境への影響が懸念され、世界中で使用を抑制する動きが強まっています。

製品情報①： <http://panasonic.jp/viera/products/dt3/1eco.html#eco01>

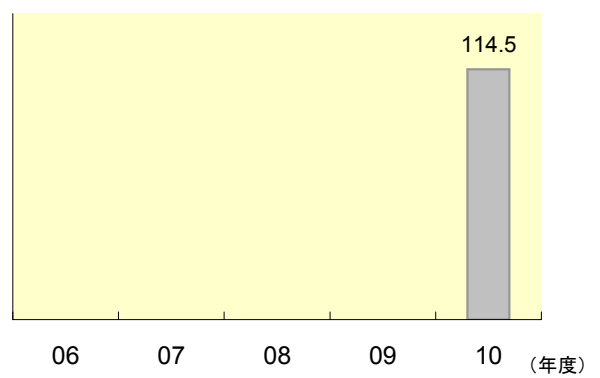
製品情報②： <http://panasonic.jp/viera/ipsled/index.html>

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 2010年4月1日~2011年3月31日

エネルギー使用量 単位:千kl



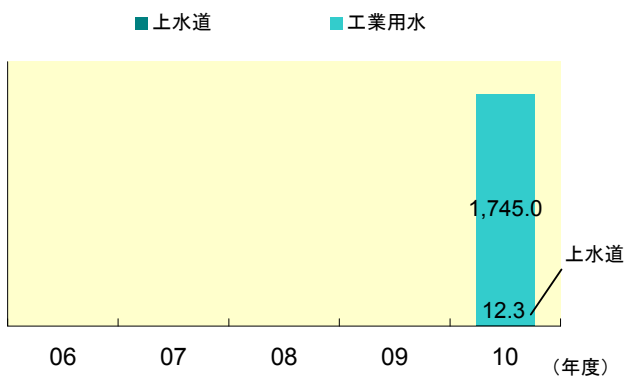
CO2排出量 単位:千t



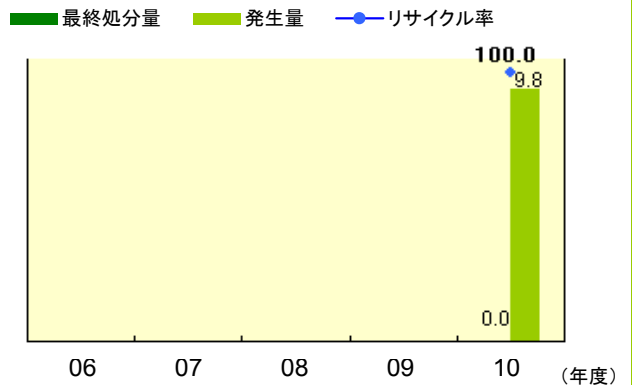
算出基準について

CO2排出係数として0.41kg-CO2/kWhを使用。

水の使用量 単位:千m³

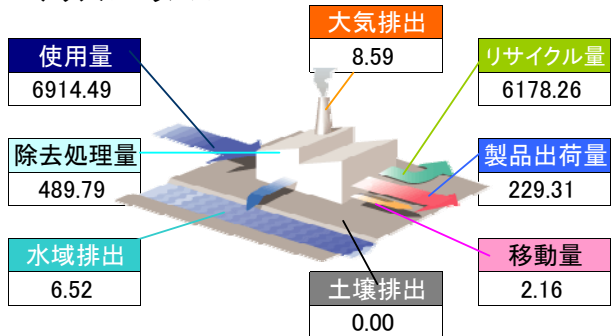


産業廃棄物・有価発生物 単位:千t、%

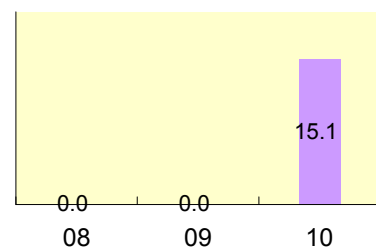


化学物質

マテリアルバランス



重点削減物質 排出・移動量



パナソニックグループの工場化学物質管理について

環境パフォーマンスデータの特記事項

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

PRTR法で指定されている化学物質以外にもパナソニックグループが独自に指定する化学物質を含め、厳しい内部基準を設け運用しています。また、工場排水については高度の排水処理を行い、排出水の水質を確保しています。

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h	N/A					
NOx	ppm	N/A					
ばいじん	g/Nm ³	N/A					

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	総合排水処理	160.00	6.00	1.50	2.70	1回/日
BOD	mg/l	N/A					
窒素	mg/l	総合排水処理	10.00	8.00	1.47	5.20	1回/日
リン	mg/l	総合排水処理	0.50	0.40	0.02	0.05	1回/日

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼	N/A				
		夜	N/A				
振動	dB	昼	N/A				
		夜	N/A				

法令規制値: 法または条例および協定の規制する値

N/A: 法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません。	

環境方針

「パナソニック液晶ディスプレイ（株） 姫路地区 環境宣言」

私達人間には宇宙万物と共存し、調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられている。
我が社はこの人間に与えられた使命を自覚し、企業としての社会的責任を遂行するとともに、この地球がバランスのとれた健康体であり続けるために環境の維持向上に万全の配慮と不断の努力を行う。

パナソニック液晶ディスプレイ（株）姫路地区（以下「姫路地区」という）は「パナソニックグループ環境宣言」に則り、あらゆる事業活動を通じて「地球環境との共存」を図る。

姫路地区の主要事業は、大型を中心としたIPS方式の液晶モジュールの製造を担当しています。
美しい瀬戸内海国立公園とユネスコの世界文化遺産で国宝でもある姫路城に隣接した地域でこれら事業活動を展開しており、貴重な自然と文化遺産を守るため、全従業員が環境保全に努め社会的責任を果たす。

1. 姫路地区は、全ての事業活動、製品及びサービスに関わる環境への全ての影響を認識し、地球環境保全活動の強化と汚染防止を推進するために、環境マネジメントシステムを構築・維持し、全員活動により継続的改善を図る。
2. 姫路地区は事業に係る全ての法律・規則・条例・協定を含む法的要求事項を遵守するために自ら定めた規程を順守する。
3. 姫路地区は、下記の重点項目を中心に全従業員が一丸となり、目標達成に向け取り組む。

■省エネルギーの推進

- ・ トップランナー工場を目指す
- ・ CO2排出量の削減

■ゼロエミッションの推進

- ・ 資源ロス削減の取組み
- ・ 化学物質総合管理と削減の取組み
- ・ 水資源削減の取組み（水のリサイクル）

■エコリレーの推進

- ・ 行政、地域との連携による活動の実施

■リスクマネジメントの推進

- ・ 法令遵守

4. この環境方針を達成するために環境目的・目標を設定し、事業環境が変化した場合は見直しを行う。
5. 姫路地区は、全従業員及び構内で常駐して働くすべての人に環境に関わる認識を高めるため、定期的に教育・訓練・要求事項等の伝達を実施する。
6. この環境方針については、文書・パンフレット等にて全従業員及び構内で働くすべての人に周知を図る。

2011年3月28日

パナソニック液晶ディスプレイ株式会社

姫路工場

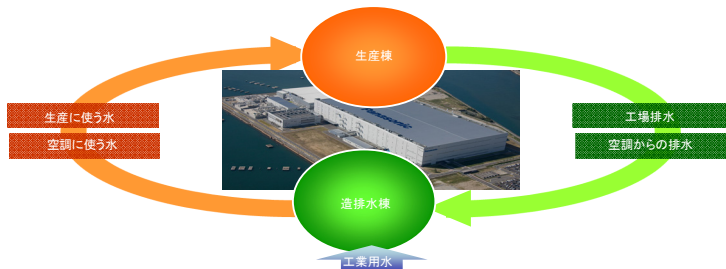
工場長

坪香 智昭



環境負荷削減の取り組み事例

- ◆外壁を全面光触媒材料でコーティング
大気中の窒素酸化物(NOx)・硫黄酸化物(SOx)をイオン化させ分解させます。
- ◆透水性アスファルトの採用
雨水流出抑制すると共にヒートアイランド現象を緩和させます。
- ◆排熱回収利用
コンプレッサー、ターボ冷凍機等からの排熱を回収し、CO2の削減を図っています。
- ◆水の回収取り組み
「排水回収再生システム」を導入し、高水準の水のリサイクルを目指します。



環境コミュニケーション事例



工場見学会のご説明

- ◆マスコミ関係の方々による工場見学会
2010年11月10日に姫路工場の開所式の後、マスコミ関係の方々をお招きして、工場説明会を開催するとともに、環境取り組み等の取材を受けました。



質疑応答

緊急事態への準備と対応



- ◆考え方と訓練計画
社員の安全確保と地域環境に影響を及ぼす事故・緊急事態を予測し、発生要因毎に緊急事態の予防処置及び対応手順を準備しています。写真は、昨年7月6日の漏液を想定した訓練の様で、このときはスピルキットメーカーの専門家による漏液時の実際の使い方等の講習を受けました。



- ◆総合避難訓練の実施
火災と地震を想定して、12月15日(水)に全社員による避難訓練を実施しました。